

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	近江八幡市子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～ 令和7年 12月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年 12月15日		～ 令和8年 1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して通所できる環境づくり	・利用定員や状態像に合わせた職員の配置となるようにし、随時の入所希望にも対応できるようにしています。 ・安心できる療育の場となるように子どもや保護者との信頼関係の構築に努めています。	・職員の配置については今後も職員体制の充実にも努めていきます。
2	適切な支援の提供につながる研修	・外部講師による療育時の子どもの様子を通じた指導や支援者向け研修等、職員の専門性の向上に向けた取組の工夫をしています。	・利用者へのサービス向上に向け、今後も職員研修を充実していきます。
3	家族への支援の機会	・保護者学習会や交流会など家族支援の機会を計画し、たくさんの方の保護者の参加につながるよう誘いかけています。	・就労などの事情により参加困難な家庭もありますが、たくさんの方に参加していただけるような家族支援の方法を工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPやSNS等を利用した施設の概要や事業の取組の発信	・個人情報の観点から写真等の掲載が困難です。	・保護者ニーズの把握に努め、個人情報の観点を十分に考慮した上で時代に即した発信の仕方を工夫できるよう検討していきます。
2	活動プログラムに対する保護者への理解	・利用児の発達や特性に合わせた活動プログラムとなるよう定期的に見直していますが、保護者の方へ活動プログラムのねらいや意図等についての説明が不十分であったと考えます。	・活動プログラムの説明をしたり、親子分離療育では参観できる日を設けたりするなど保護者の方に理解していただけるよう努めていきます。また、プログラム内容についても豊かなものとなるよう工夫していきます。 ・繰り返しの経験の中でできた満足感や自信につなげていくことの大切さについても理解していただけるようお伝えしていきます。